



若ものが来る街・加賀

～加賀を県庁所在地に～

Bグループ

田中栄都
(リーダー)

濱野茉央

中村優花

細川水暉

加賀の課題

•人口減少

•アクセスが不便で旅行の計画を立てにくい

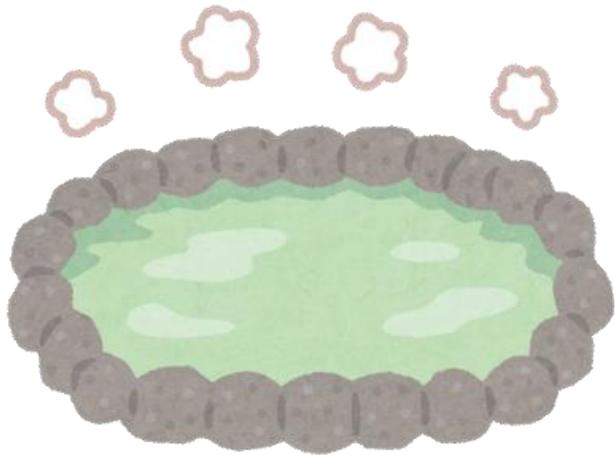
•SNSはしているが、そもそも知名度が低い 等々

まずは加賀を知ってもらおう！そして来てもらおう！

石川といえば金沢→石川といえば加賀に！

加賀を知ってもらうために

- ターゲット→若い人
- 加賀といえば、山中・山代・片山津の加賀温泉郷！
- 温泉をテーマに面白いツアープランを提案します！





自分に合った温泉を 提案するツアー

加賀には三つもの温泉があり、どれも魅力が違う…

質問形式のアンケートで、その人に合った
エリアを提案する

たとえば…「熱いお湯が好き！」→片山津温泉エリアツ
アーをおすすめ

お湯の効果や旅行のシチュエーションによっていろい
ろなバリエーションの旅行プランを提案





宣伝方法

SNSがあっても加賀のことを自分から調べてくれる人は少ない…

自分から調べなくても目に付くような広告が大事！



◎若い人がよく見るもの…*YouTube*や*Instagram*のストーリーに広告を付ける

◎若者に人気の*インフルエンサー*にツアーを体験してもらい、宣伝してもらおう *たとえば…石川出身の浜辺美波や有名ユーチューバーとコラボ*

何度も来てもらうために

一回だけ来てもらうだけじゃ意味がない！

温泉にプロジェクションマッピングを設置

その名も「湯気ツピング」

季節によって、エリアによって投影する映像を変え、

バリエーションを豊富に

「今回は山中の春のを見たから次は山代の春のを見たい！」

「片山津の秋の映像が素敵だったから冬も来よう！」



※イメージ



街の対応

せっかくたくさんの人に来てもらっても、町が汚いと心から加賀を楽しんでもらえない…

**清掃ボランティアを募集し、参加してくれた人には温泉
無料券などの特典付き！**

加賀に住んでいる人も楽しめるように

加賀のために私たちが ができること

田中

この事業を通して加賀市を認知している人が少なすぎると感じた。

【宣言】

出会う人たちに加賀市を紹介する。

そして加賀市に来てくれた人たちを迎え入れるため、街の清掃ボランティアなどに積極的に参加していく。



加賀のために私たちが ができること

濱野

加賀市の良さを知ってもらうには、まずは自分が加賀市をもっと知って好きになることが大切。

【宣言】

加賀市にあるいろいろなお店に行ったり、今回のような加賀市について考える事業に積極的に参加したりする。



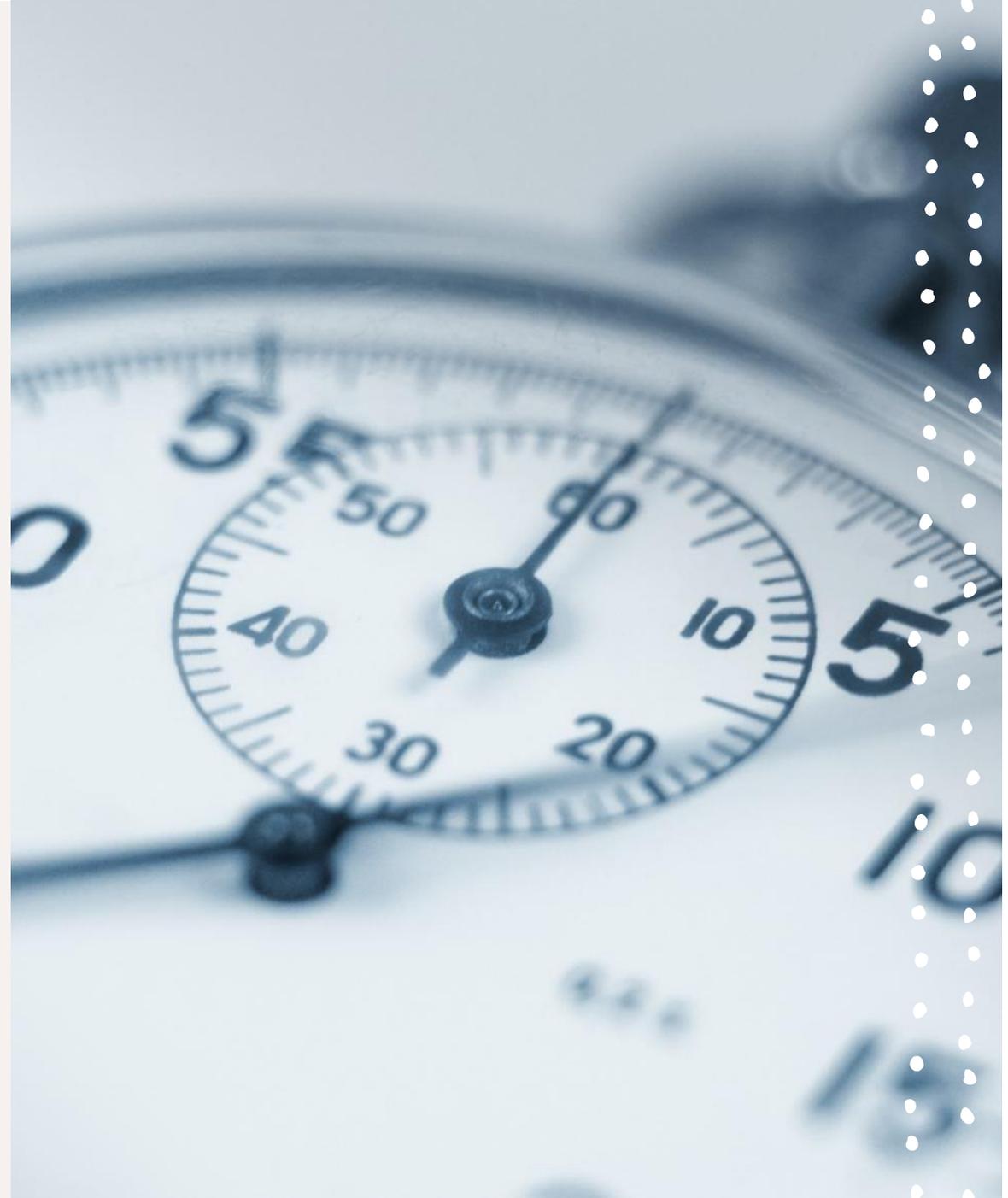
加賀のために私たちが できること

中村

ツアーを考え、発信していくことで自分たちも加賀の魅力を再発見することができ、加賀は若者や観光客が増えて活気ある街になっていくと思う。

【宣言】

加賀の魅力を伝えるために、自分たち高校生が中心となってツアーを考えていく。



加賀のために私たちが できること

細川

かがやき人の方々のお話を聞き、自分たちで加賀の発展のために何ができるかを考えることで改めて加賀の魅力を実感できた。

【宣言】

加賀を全く知らない人に出会う場面で「行ってみたい」と思ってもらえるような魅力を伝えていく。



ご清聴ありがとうございました。

A decorative horizontal line consisting of a series of small, light-colored dots, spanning the width of the page below the text.